

稲葉真弓展

MAYUMI
INABA

移りゆく時代と女性を描いた作家

稲葉真弓は1950年に海部郡佐屋町（現愛西市）に生まれ、愛知県立津島高等学校に進みました。高校在学時から同人誌「作家」に作品を発表し、23歳の時に「蒼い影の傷み」で女流新人賞を受賞。その後結婚して上京し、編集の仕事をしてながら1992年に『エンドレス・ワルツ』を刊行し、女流文学賞を受賞しました。2008年に三重県志摩半島での生活を題材とした短編小説「海松」で川端康成文学賞を、2011年に『半島へ』で谷崎潤一郎賞を受賞しさらにこの年に中日文化賞を受賞しました。2014年4月には紫綬褒章を受章し、8月に惜しくも64歳で生涯を終えました。今回の企画展では、華やかな受賞歴の背景にある創作活動を、その著作をはじめ津島高校に寄贈された数々のゆかりの資料とともにご紹介いたします。



TALK EVENT トークイベント「稲葉真弓を語る」

対談：
三田村博史 × 山下智恵子
(中部ペンクラブ会長・作家) (作家)

同人誌「作家」に発表していた頃の作品や活動の様子、人物像や背景などについてお話しいただきます。

■日 時:平成28年10月23日(日)13:30~15:00

■会 場:文化のみち二葉館 1階大広間

※入場無料(要入館料) 当日先着順自由席



CHIEKO
YAMASHITA

【山下智恵子】1939年名古屋市生まれ。名古屋大学文学部卒。小谷剛主宰「作家」同人として稲葉真弓と重なる時期あり。婦人公論女流新人賞、愛知県芸術選奨文化賞受賞。著書に『砂色の小さい蛇』『幻の塔』『野いばら咲け』など。



HIROSHI
MITAMURA

【三田村博史】1936年岐阜県生まれ。現在の愛知教育大卒。高校国語教師時代より同人誌に関わり、近ごろは地元ゆかりの文学者啓発にも努める。名古屋市長賞受賞。小説集『姜の亡命』『漂い果てつ』、近著に中日新聞社刊『東海の文学風土記』。

主催・お問い合わせ

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目23番地

Tel & Fax 052-936-3836

http://www.futabakan.jp/

交通のご案内

- なごや観光ルートバスメール「文化のみち二葉館」下車
- 市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分
- 基幹バス2号「白壁」下車、南に徒歩5分
- 地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分
- 名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分

※駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。



当日利用したドニチエコきっぷ等の一日乗車券を提示するだけで、名古屋市内の施設・飲食店などで割引などの特典が受けられます!

※詳細は地下鉄駅で配布している特典ガイドブック「なごや得ナビ」をご覧ください。

おかげさまでドニチエコきっぷは発売10周年

ドニチエコきっぷ・一日乗車券を利用してご来場の方は、
一般

文化のみち二葉館入館料割引! 200円 ▶ 160円

※「ドニチエコきっぷ」「一日乗車券」は、ゆとりーとライン(高架区間)、名鉄バス、あおなみ線、リニモでは利用できません。

